

うさぎの耳

聴くことは社会貢献の第一歩！

第48号（2020年12月1日）
福津市社会福祉協議会内

◇ 社協、福津市、包括支援センター等からのお知らせ

福岡県社協主催の「きずなフェスティバル」が、2021年2月21日（日）春日市クローバプラザで予定されています。締め切りは、1月5日（火）です。当日、新宮町のボランティア「そら」のふれあい10分コールの内容が発表されます。

◇ 会からの知らせ

- 1 イオン黄色いレシートキャンペーンは、毎月11日には、レシートを入れるボックスは用意されていますので、その日に買い物された方はレシートを入れるようにして下さい。
- 2 癒しの傾聴カフェは、12月4日（金）9名参加でした。次回は1月8日（金）です。
- 3 寒くなりコロナ禍の感染者が増加の傾向ですので、今年度の忘年会は集まって行わずに、12月定例会（21日、月）に各自家庭で行ってもらうためお弁当、お菓子をお配りします。

◇ 11月定例会の話題

- 1 ふれあいコール関連
 - ① 10月の件数は25件でした（回覧参照）。11月20日までに11件です。
 - ② 社協便り11月号に、ふれあいコール紹介されました。また、市政便り12月1日号にコロナ禍での活動の一環として一部紹介されました。
 - ③ 小野会員の紹介で、「おはよう宗像」と「サンデー」にふれあいコールが掲載されました。
- 2 けんじえんから感謝状、お菓子を頂き、礼状は出しました。

◇ 会員の広場

2019年度研修雑感

山崎 正弘 会員



福岡郁雄先生による研修会後段では、3つのポイントして選択、心得、自省を掲げられ講義を受けました。選択では、例えば自己中心的な人を自分を大事にする人と取るか、或いは我が儘と取るか、ボランティアをする人を暇な人取るか人の面倒目が良い人するかは、正にその人の価値観の差にある。心得の中で話された「傾聴は人のためにするのではなく、自分の成長のために始める」という解説により、これまで真意が分かっていませんでしたが、疑問が少し氷解できたようです。北九州傾聴ボランティア「ひだまりの樹」を指導された亀津さんも同様のことを仰っておられました。最後の自省においては、知恵を身につけるには経験が必要、経験から学ぶには自省が必要。このような切り口から傾聴を考察されることは初めてのことであり、新鮮さを感じました。

自ら傾聴の勉強に取り組んだり、本を紐解くには怠り心が先行し、一大決心がいます。今回のような講演会を利用して専ら耳学問に頼りに学ぶのも高齢者にとっては、大変貴重で有効な方法です。前記亀津さんが言われていましたが「学んで気が付かなければ学んだことにならない」ので、今回研修会で何か一つでも掴んで気が付いて頂ければ、それで良かったのではないのでしょうか。

今回の研修は、高齢者傾聴に特化したものではありませんでしたが、傾聴活動はどう在るべきか原点に立返る良い機会となり、私自身多くの点を学び再認識し収穫があったようです。